

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 26 日

大分県知事 広瀬 勝貞 様

提出者

住 所 北九州市門司区小森江3丁目12番10号

氏 名 九鉄工業株式会社北九州本店

取締役本店長 森山 貞文

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 093-371-1661



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

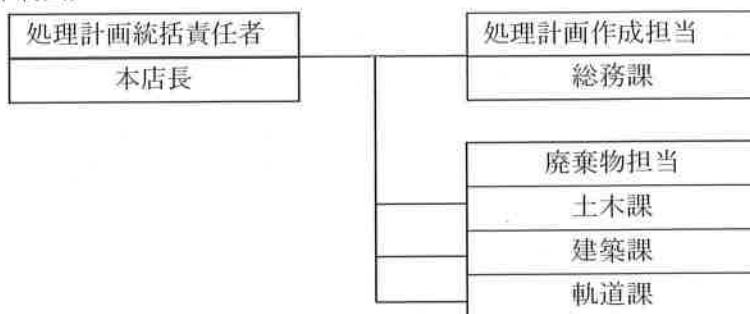
事業場の名称	九鉄工業株式会社 北九州本店
事業場の所在地	北九州市門司区小森江3丁目12番10号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業
② 事業の規模	前年度の完成工事高 8,350 百万円
③ 従業員数	112人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 別紙2のとおり	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>産業廃棄物の発生抑制を考慮した工法等の採用促進や資材の繰り返し使用の徹底など廃棄物の削減に努めた。軌道の線路撤去工事においてバラストを処理したため、がれき類が多量に発生した。</p>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>令和5年度実績を基に5%削減する計画を実施している。特に新築工事の設計・施工計画の策定にあたっては廃棄物の発生抑制の観点に立った使用材料の選定および工事方法の採用に努めるなど、計画目標の達成に向け取組みを強化する。</p>		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、金属くず等の分別を徹底して行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の減少に努め、分別を徹底し、自らも再生資材を積極的に使用する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

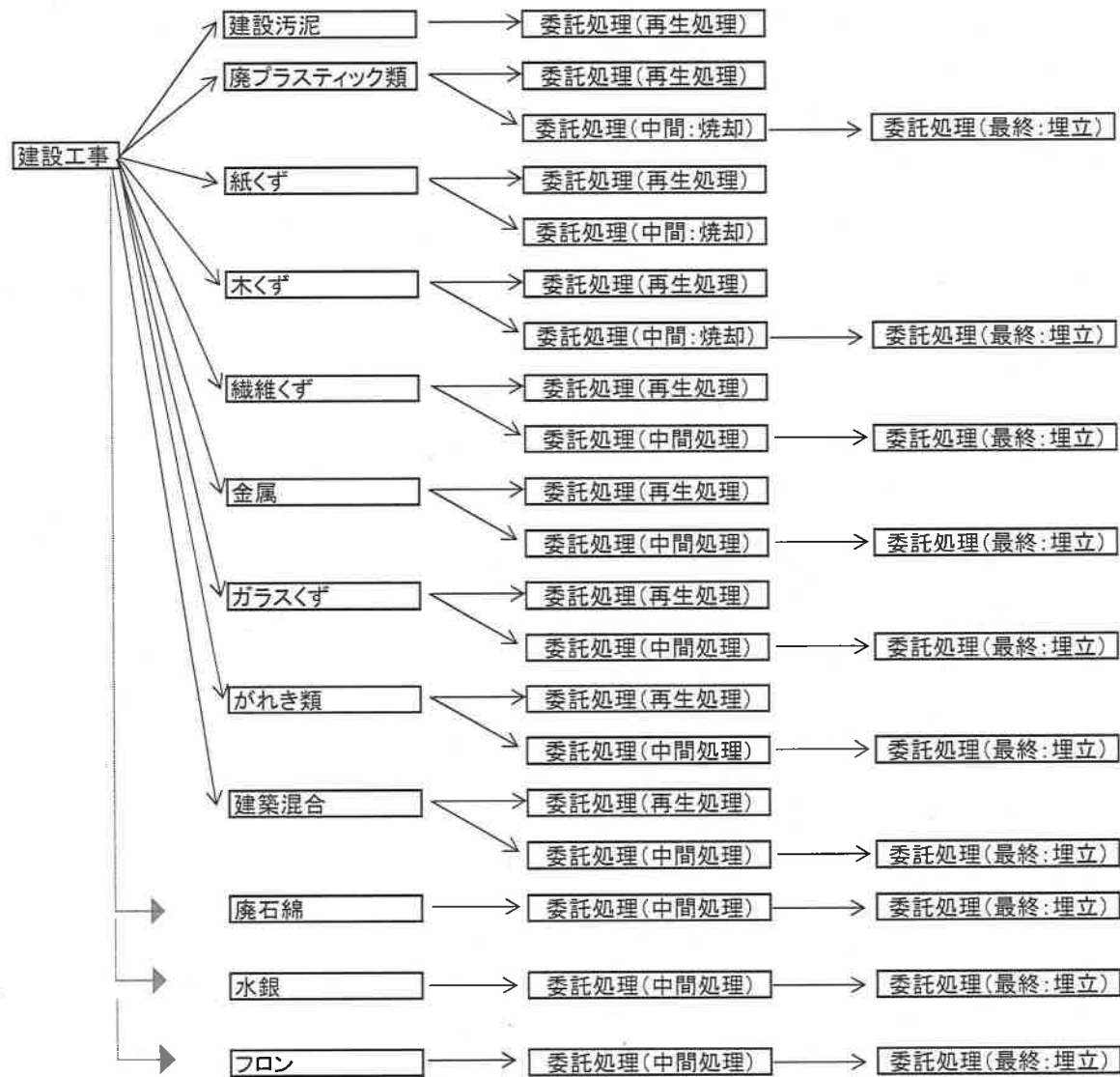
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状 別紙3のとおり	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	廃棄物は再生処理施設へ委託することを原則としている。		

②計画 別紙3のとおり	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>できる限り再生利用業者へ委託することとし、優良認定を受けた処理業者に委託を行う。</p>		
※事務処理欄			

別紙1

産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	排出量(t)		記事
	令和5年度実績	令和6年度計画	
アスコンがら	51.300	48.735	
コンクリートがら	1,870.530	1,777.004	
その他がれき類	553.960	526.262	
廃プラスチック類	1.110	1.055	
木くず	206.530	196.204	
混合廃棄物	12.830	12.189	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
		0.000	
合 計	2,696.260	2,561.447	

別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
アスコンがら	51.300	0.000	51.300		
コンクリートがら	1,870.530	0.000	1,870.530		
その他がれき類	553.960	0.000	553.960		
廃プラスチック類	1.110	0.000	1.110		
木くず	206.530	0.000	206.530		
混合廃棄物	12.830	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.500	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
	2,696.260				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
アスコンがら	48.735	0.000	48.735		
コンクリートがら	1777.004	0.000	1777.004		
その他がれき類	526.262	0.000	526.262		
廃プラスチック類	1.055	0.000	1.055		
木くず	196.204	0.000	196.204		
混合廃棄物	12.189	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.475	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
0	0.000	0.000	0.000		
	2,561.447				